

石野教室だより 9月号 4 教室合同版（個別指導塾・そろばん・書道・英会話）

夏休みも終わり通常の生活に徐々になりつつあります。夏休みの楽しかった思い出もたくさんできたのでは？石野教室の夏の合宿についても最後に書かせていただきましたのでぜひお読みください。

個別指導塾からのお知らせ

学校が始まりましたね。中学に向けていま大切なことをまとめてみました。



小学校時代に大切にしたいこと

小学校時代は、中学校やその先へ進むための「土台」をつくる大切な時期です。

もちろん、国語や算数などの基礎学力をしっかりと身につけることは大切です。でも、それだけではありません。

- ・ 自分で考え、行動する力
- ・ 時間ややるべきことを自分で管理する力
- ・ 人と関わり、相手の気持ちを考える力
- ・ 失敗を恐れず、新しいことに挑戦する心
- ・ ルールを守り、周りと協力する力
- ・ 「自分にもできる」と思える自信

こうした力も、小学校時代に少しずつ育てていきたいものです。

勉強ができることだけが「成長」ではありません。

できなかったことができるようになったり、苦手なことにも挑戦したり、自分で考えて行動できるようになったり――。

小さな「できた！」を積み重ねることが、子どもの自信となり、次のステージへ進む力になります。

教室でも、学力だけでなく、こうした「生きる力」も大切にしながら、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

宿題は無理のない量を出しているつもりです。次に来る教室の時までにどれくらいしたらよいか自分で計画立て学習するようにしていきましょう。特に6年生は中学に向けて今のうちから自分をコントロールできるように習慣づくりの時期です。お家での声かけなどご協力お願いいたします。まとめてすることは学習効果が薄くなりますよ。

そろばん教室からのお知らせ

検定試験は「挑戦する機会」

今回は、そろばんの検定試験について少しお話しします。



そろばんの検定は、基本的に2か月に1回、奇数月に実施しています。暗算と4級までは偶数月にも受験できますが、こちらは特別な場合に限って実施しています。「どうしても偶数月に受けたい」という場合は、いつでもご相談ください。

検定の声かけは、ただ「次は〇級を受けましょう」と一律に決めているわけではありません。

「今なら頑張れば合格できそうだな」という時や、少し気持ちが下がっている時に、**検定への挑戦をきっかけに、気を出してほしい、自信をつけてほしい**と思って声をかけることもあります。

そして、最後に決めるのは子ども自身です。

もちろん、挑戦したからといって、毎回合格するとは限りません。でも、不合格だった時こそ大切な学びがあります。

「どうして合格できなかったんだろう？」

「練習で何が足りなかったのかな？」

「次はどうしたら合格できるかな？」

一緒に振り返りながら、自分で原因を考え、次の目標を決める。

検定は、級を上げるためだけのものではありません。

「やってみよう」と自分で決めて挑戦すること。うまくいかなかった時に考え、また次に向かうこと。

そんな経験の積み重ねが、そろばんの上達だけでなく、**子どもたちの自信や、自分で考えて行動する力につながっていく**と考えています。

合格はもちろん喜んでやってください、不合格のときは学びと時と思い、温かく励ましてあげて欲しいです。ご理解くださいますようお願いいたします。

検定を受けるときはそのつもりでお家でも練習するよう声かけや協力をお願い致します。

書道教室からのお知らせ

夏休みも終わり、いよいよ新学期のスタートですね。

9月・10月は、いろいろな作品づくりや試験が重なり、子どもたちにとっても大忙しの2か月になります。

一つひとつ楽しみながら、みんなで頑張っていきましょう！

🌸 これからの予定

① 昇段試験(段者のみ) 9月14日までに終了する予定です。

② 西本願寺 全国奉納書道展(小学3年生以上) 10月5日までに作品を仕上げる予定です。

参加費は無料です。

③ 広島書道展(小学3年生以上) 10月いっぱいを目安に取り組みます。

参加費は1,000円です。

普段とは違う作品に挑戦できる、とても良い機会ですので、参加する価値は十分にあります。

西本願寺・広島書道展ともに、「やってみたい!」という本人の気持ちを大切にして参加を募ります。

「やってみようかな?」と思う生徒さんには、1,000円と書いた封筒をお渡しします。

封筒の中の用紙に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

お申し込みをいただいた生徒さんから、作品の練習に取りかかります。

何事も「挑戦してみる」ことが、これからの子どもたちには大切です。

上手に書くことだけを目指にせず、新しいことに挑戦する楽しさを一緒に味わっていきましょう♪

⇒ 検定のお申し込みについて

10月から3月までの検定のお申し込みもあります。

今回から、毎回申込用紙に記入していただく方法をやめ、お申し込み方法を簡単にしました。

お月謝袋に「検定費」と記入しますので、検定費を入れていただくことでお申し込み完了といたします。

住所などの変更がある場合は、必ずお申し出ください。

9月・10月は、いろいろな行事や作品づくりが重なり、私自身も頭の中が少々パニックになりそうです(笑)

「これはどうしたらいいの?」ということや、分からないことがありましたら、いつでも遠慮なくお声がけください。子どもたちと一緒に、忙しい2か月も楽しみながら頑張っていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。 9月21日はお休みです
毛筆を持ってくる日は本人に伝えます。

英会話教室からのお知らせ



まだまだ暑い日が続いていますが、いよいよ9月です

9月はお休みの日はありません。

通常どおりレッスンを行います。

振替が必要な方は、レッスンが始まる時に「振替をお願いします」とお伝えください

夏休みに持ち帰った英単語カードについてのお知らせです。

カードには、できるだけネイティブの発音に近いフリガナをつけています。

このカードは、単語を覚えたら教室で新しいカードと交換することで、少しずつ語彙力を増やしていくことを目的にしています。

毎回、新しいカードに交換できるよう、ぜひお家でも練習して覚えてきてくださいね♪

「今日は何個覚えたかな？」と、保護者の皆さまからも声をかけていただけると嬉しいです。

子どもたちが楽しみながら、たくさんの英単語を身につけられるよう、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

あの2日間で、子どもたちを少し大きくする

子どもは、さまざまな経験を通して成長していきます。

初めてのことに挑戦したり、思い通りにいかなかったり、友達と力を合わせたり、ときには困ったり。

そんな一つひとつの経験が、いつか「自分ならできる」という自信になり、次の一歩を踏み出す力になっていくのだと思います。

だから今回の合宿では、到着してすぐに、

「この合宿で、自分は何にチャレンジしてみる？」

という目標を書いてもらいました。

「小さい子に声をかける」

「自分から先生に質問する」

「自分のことは自分でする」

「友達と協力する」

「友達を3人作る」……

目標は一人ひとり違います。

大切なのは、立派な目標を立てることではなく、



「ちょっとやってみよう」
「いつもより一歩踏み出してみよう」

と思うことです。

そして、その気持ちを合宿の2日間だけで終わらせたくありませんでした。

そこで、教室に戻ってからも「チャレンジしてみよう」という気持ちを持ち続けてもらえるよう、点券交換日に合宿で書いた目標カードを持ってきた子には、10点分を還元することにしました。

これは、目標を達成できたかどうかを評価するためではありません。

「やってみよう」と自分で決めたこと。
その気持ちを忘れずに持ち続けてほしい。

私たちは、そこを大切にしています。

経験は、次の一歩につながる

今回の合宿でも、子どもたちのいろいろな姿を見ることができました。

自分から質問する子。
困っている友達を助ける子。
自分の役割を考えて動く子。

また、去年の経験が自信になり、今年は「行きたい」と自分から言った子もいました。

あるお母様からは、

「去年の経験が自信になって、安心して参加できると思ったのだと思います。」

という嬉しい言葉をいただきました。

また、

「合宿では自分から質問して積極的に動いたり、お友達を助ける姿があったそうで、私の知らない一面を知ることができました。」

というお話もありました。

子どもは、いつもの生活の中だけでは見えない姿を持っています。

新しい場所に行き、仲間と過ごし、少しだけ勇気を出してみる。

そんな経験が、子どもの中にある「まだ見えていなかった力」を引き出してくれることがあります。

そして、私たちが特に嬉しかったのが、

「毎年『行かせてくれてありがとう』と書いてくれます。」

というお母様の言葉でした。

子どもが「行ってよかった」と思える経験。

保護者の方が「行かせてよかった」と思える経験。

それが、私たちが子どもたちに届けたいものです。

石野教室では、日々の学びだけでなく、

「やってみよう」

「一歩踏み出してみよう」

「自分で考えてみよう」

という気持ちを大切にしています。

今回の合宿で書いた一枚の目標カードが、これからの日々の中で、子どもたちの背中をそっと押してくれたら嬉しく思います。

経験する。

挑戦する。

できる。

自信になる。

そして、また挑戦する。

その繰り返しが、子どもたちを少しずつ大きくしていくのだと思います。

今年の夏合宿が、子どもたちにとって

「楽しかった2日間」から「自分が少し成長した2日間」へ。

そして保護者の皆さまにとって、

「この合宿に行かせてよかった」

と思える経験になっていたら、私たちにとって何より嬉しいことです。

今年も大切なお子さまを送り出してくださり、本当にありがとうございました。

夏合宿動画 10 分（どこかに自分のお子さんが出ています）

<https://www.youtube.com/watch?v=uwEmozWnh8I&t=54s>

